マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※　地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第１部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

自治大学校での生活がスタートしてから、早くも１ヶ月が経ちました。

自治大学校に来る前は、はたして自分に務まるのだろうか、生活はどうなるのだろうかという不安でいっぱいでした。今では落ち着いて東京生活を楽しんでいますが、当時は少しでも情報を集めようと、自治大学校のホームページを何度も開き、このつぶやきを読み漁っていました。当時の心境を思い起こして、自治大学校に来る方の不安を少しでもなくせるような情報を発信できれば幸いです。

◆マネジメントコースとは

一般研修課程を履修し、それ以外の期間は自治大学校の職員として、研修運営等の実務に従事します。

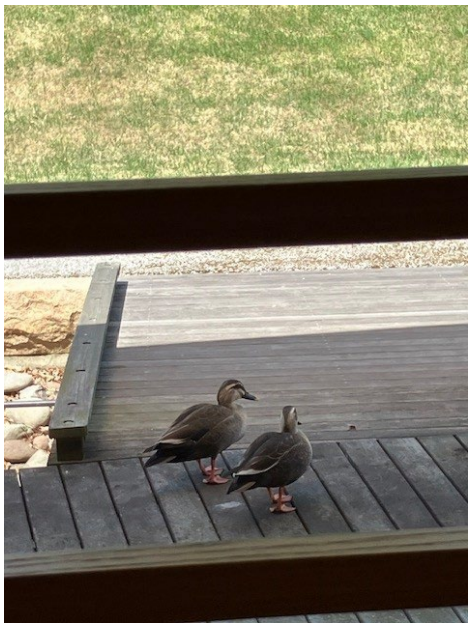
私の場合は 10 月中旬までは自治大学校職員として勤務し、以降は３月まで研修生として一般研修課程を履修します。研修生の間は、他の研修生と全く同じ扱いです。

自治大学校（2025 年４月）

◆自治大学校での生活について

立川市は住むのにとても便利な場所です。立川駅または立飛駅周辺には飲食店や日用品店がそろっており、百均ショップやスーパーもあります。生活に必要なものを揃えるのには困らないと思います。ショッピングや近くの昭和記念公園で散歩したりして、気分転換するのもおすすめです。

寮について、最初は手狭に感じましたが、１ヵ月で大体慣れてきました。入寮前はどれだけ荷物を持っていけるのか悩みましたが、クローゼットと棚にあっさり収納できたので、拍子抜けしたのを覚えています。案外収納できます。



食堂から撮影した鴨（2025 年４月）

◆自治大学校での仕事について

自室から徒歩５分もかからず、建物内のみの移動で通勤できます。お昼は食堂があるので、お手軽に健康的な食事がとれます。

何事にも相談しやすい環境で、業務に限らずわからないことや困ったことがあれば、すぐにフォローしていただけます。研修生とも、互いに情報を共有し、一人で抱え込むことのない職場環境となっています。

◆まとめ

全国から派遣された研修生と同じ目標を共有し、業務や研修に携わることは滅多にない機会です。他の自治体の話を聞くと、自分の視野がどんどん広がっていくのを感じられます。

５月から自治大学校の各研修課程が始まり、本格的に業務も忙しくなってきますが、何とかなるだろうと前向きな気持ちでいます。マネジメントコース研修生は、全国各地から集まり、自治大学校の業務や一般課程の研修に臨むことになります。同じ立場の仲間がいることは大変心強いものです。

自治大学校への派遣に不安を感じている方は、仕事や研修以外にも、東京生活や研修生との交流など、楽しみとなる面に目を向けていただければと思います。何せ通勤時間が短いので、自由時間が多いのです。

このような貴重な機会を与えていただいた派遣元および自治大学校の皆様に、深く感謝いたします。少しでも成長して派遣元に戻れるよう、大切に日々を過ごしていきたいと思います。

最後までお読みいただきありがとうございました。

校門前の桜（2025 年４月）